

国際計測器株式会社

2009年3月期(第40期) 決算説明会

平成21年6月3日(水)

KOKUSAI Co.,LTD.



社 名 国際計測器株式会社(KOKUSAI CO.,LTD.)

代 表 者 代表取締役社長 松 本 繁

設 立 1969年6月(現在 41期)

事 業 内 容 バランシングマシンの専門メーカー

1) バランシングマシン

主な試験・計測対象物

・自動車部品関連

- ・走行系 (タイヤ・ホイール・ブレーキディスク)
- ・エンジン (クランクシャフト・コンロッド・ターボチャージャー)
- ・駆動系 (クラッチ・トルクコンバーター・プロペラシャフト)
- ・電装用モーター類 (ワイパー・パワーウィンドウ・スターター)

・家電関連 (掃除機・エアコン・ビデオ)

・IT・OA関連 (ハードディスク・レーザープリンター・冷却ファン)

2) シャフト歪矯正機

- ・自動車部品関連(クランクシャフト・ラックバーシャフト・ピニオンシャフト)
- ・OA関連 (プリンター・コピー等内蔵シャフト)

3) その他 ・巻線試験機 ・ギヤテスター ・地震計測システム

4) 電気サーボモータ式各種振動試験機・動電型振動試験機

暮らしの中の計測対象①

生活基盤産業分野

家電からIT機器まで幅広い分野で、安全で豊かな暮らしをサポートしております。

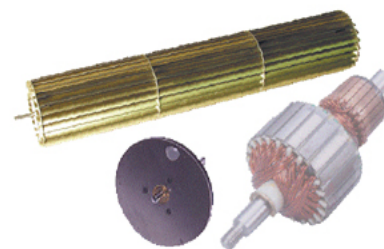


- ハードディスク
- 冷却ファン

デジタル機器分野

家電分野

事務機分野



- エアコン用ファンモーター
- クリーナーモーター



- レーザープリンター用ポリゴンミラー

自動車関連分野

最近の乗り心地の良さを追求する消費者ニーズの高まりにより、タイヤ・各種電装モーターのバランスグマシ、エンジン及び駆動系のシャフト歪矯正機等を通じ、品質管理に貢献しております。

クランクシャフト
コンロッド
ターボチャージャー
冷却ファン

エンジン系

クラッチ
トルクコンバーター
トランスミッション
プロペラシャフト

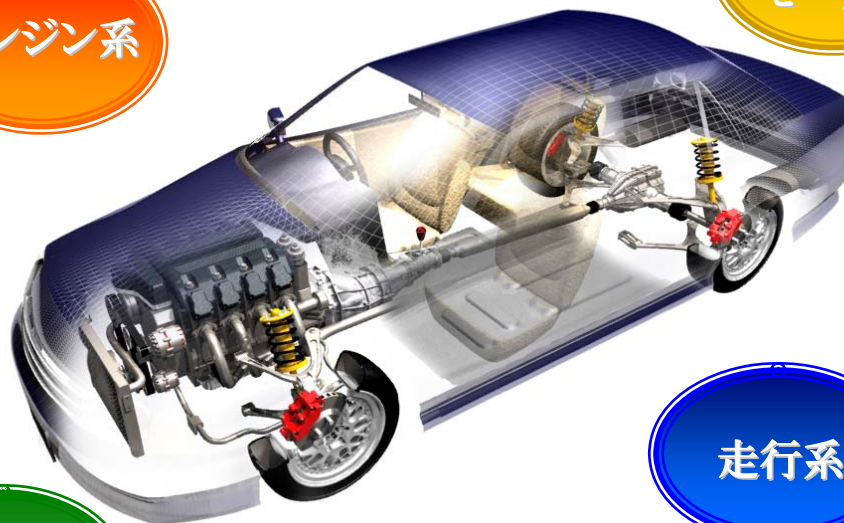
駆動系

電装系
モーター

ワイパーモーター
パワーウインドウモーター
パワーシートモーター
スターターモーター
ABSモーター

走行系

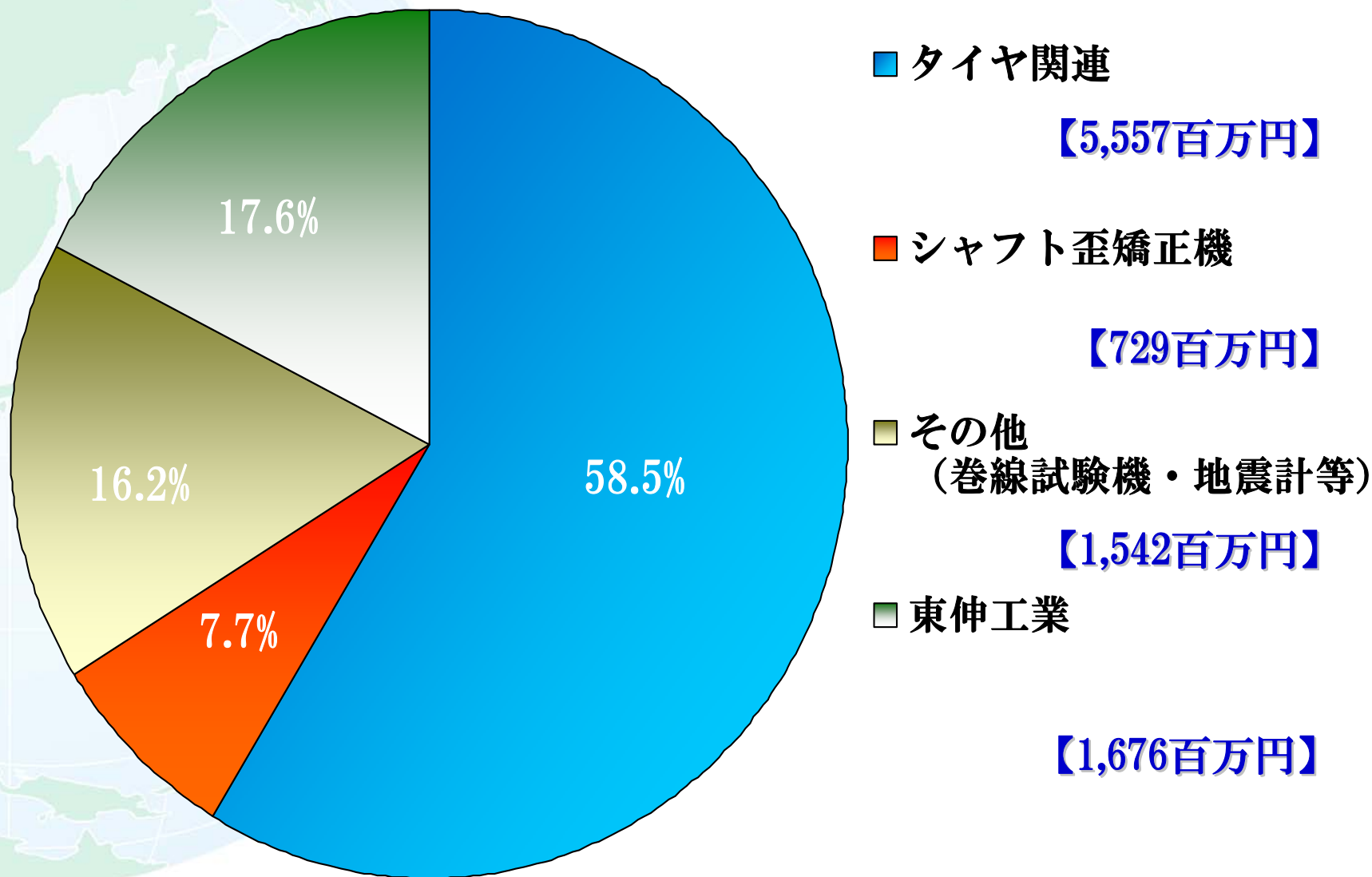
タイヤ・ホイール
ブレーキディスク
ピニオンシャフト

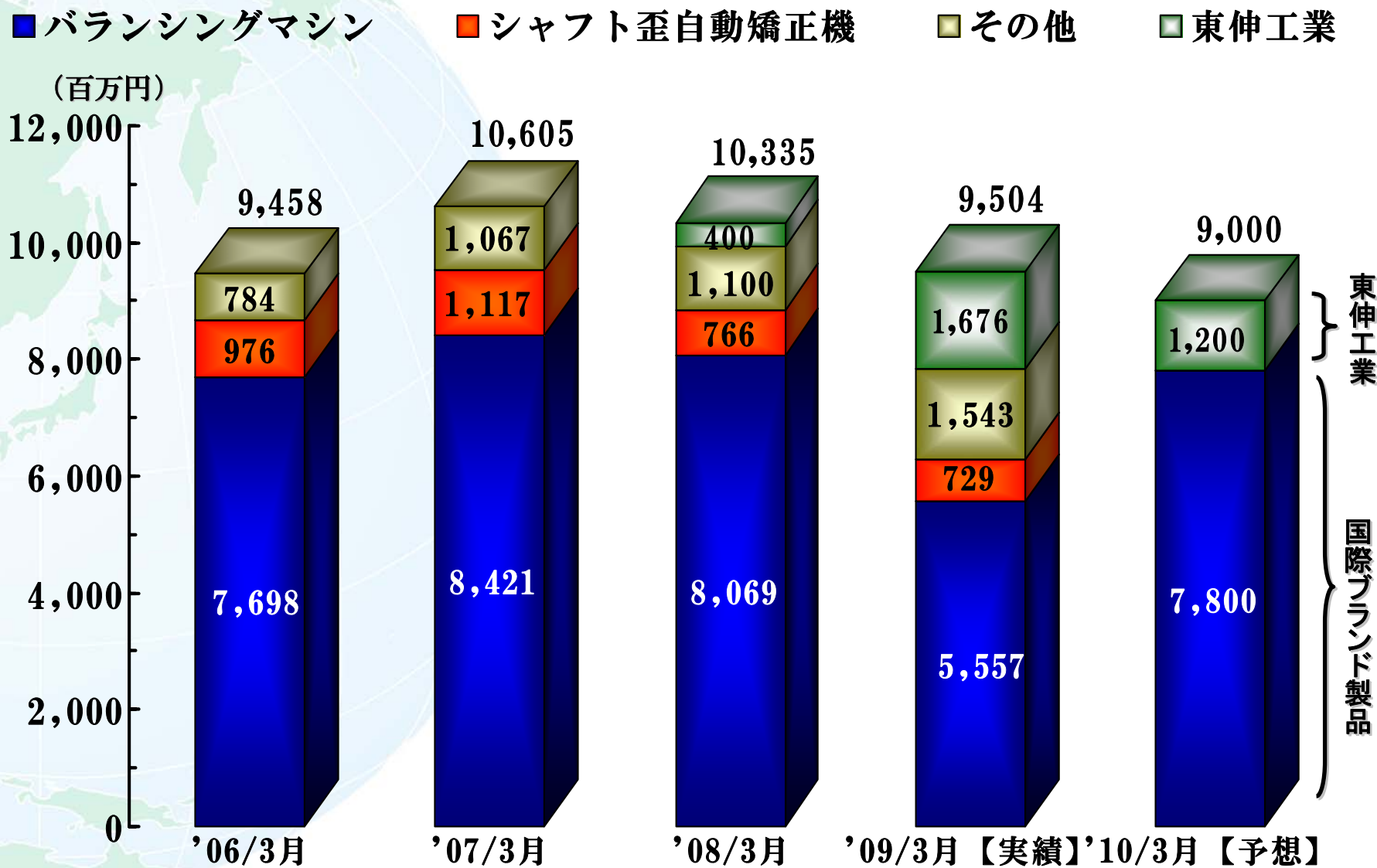


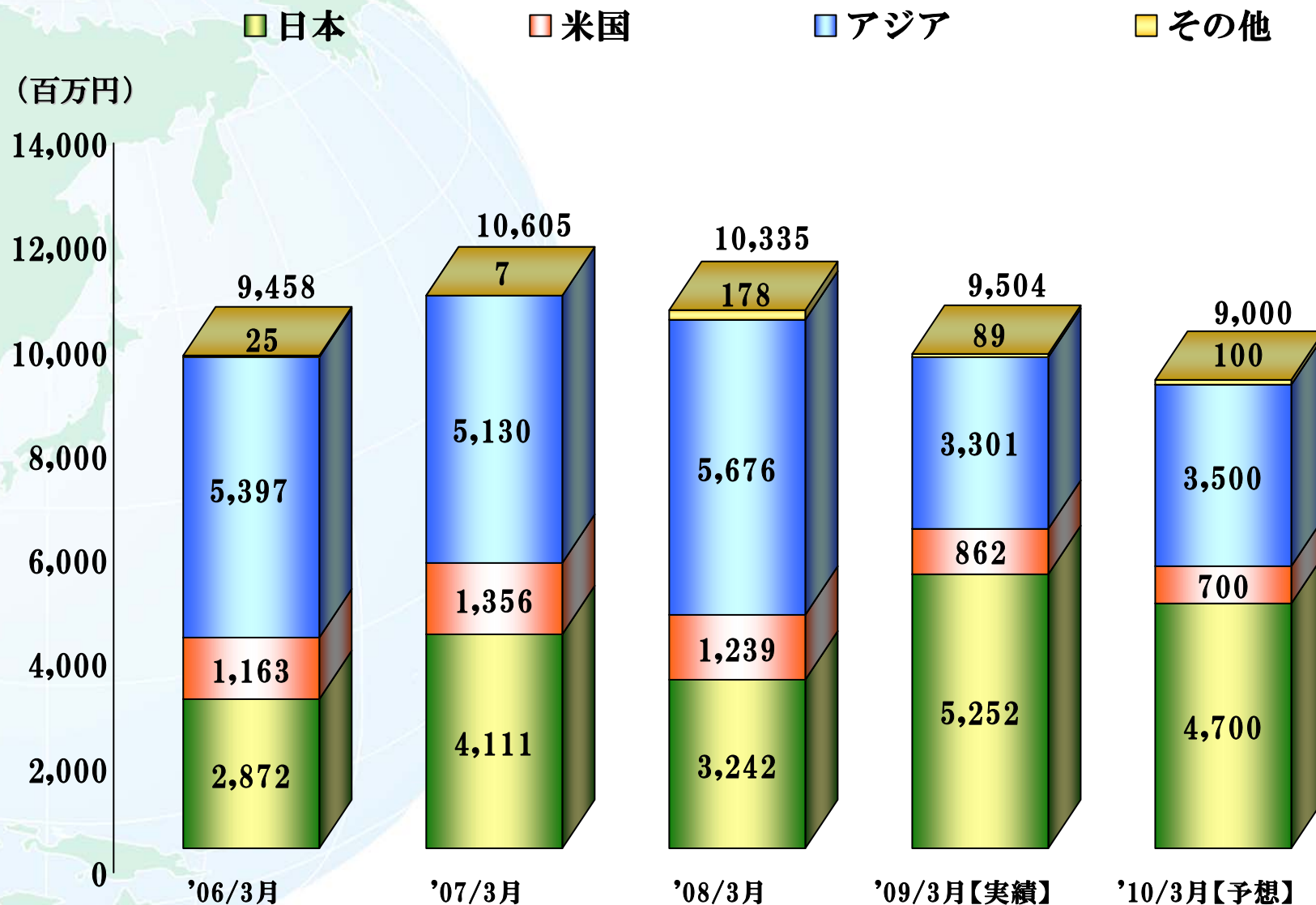
(単位:百万円)(09年3月末現在)

連結対象	名 称	住 所	売上高		営業損益		従業員 合計 312名	従業員 '09/6/1 現在
			前期	当期	前期	当期		
本 社	国際計測器株式会社	日本・東京都	7,990	6,794	2,057	550	145	144
連 結 子会社	KOKUSAI INC.	米国・インディアナポリス	1,269	925	206	28	20	20
連 結 子会社	KOREA KOKUSAI CO.,LTD.	韓国・大邱市	1,538	1,035	200	163	35	31
連 結 子会社	高技国際計測器 (上海)有限公司	中国・上海市	401	284	△48	△45	58	58
連 結 子会社	東伸工業株式会社	日本・東京都	400	1,675	31	338	47	47

・総売上高(9,504百万円)





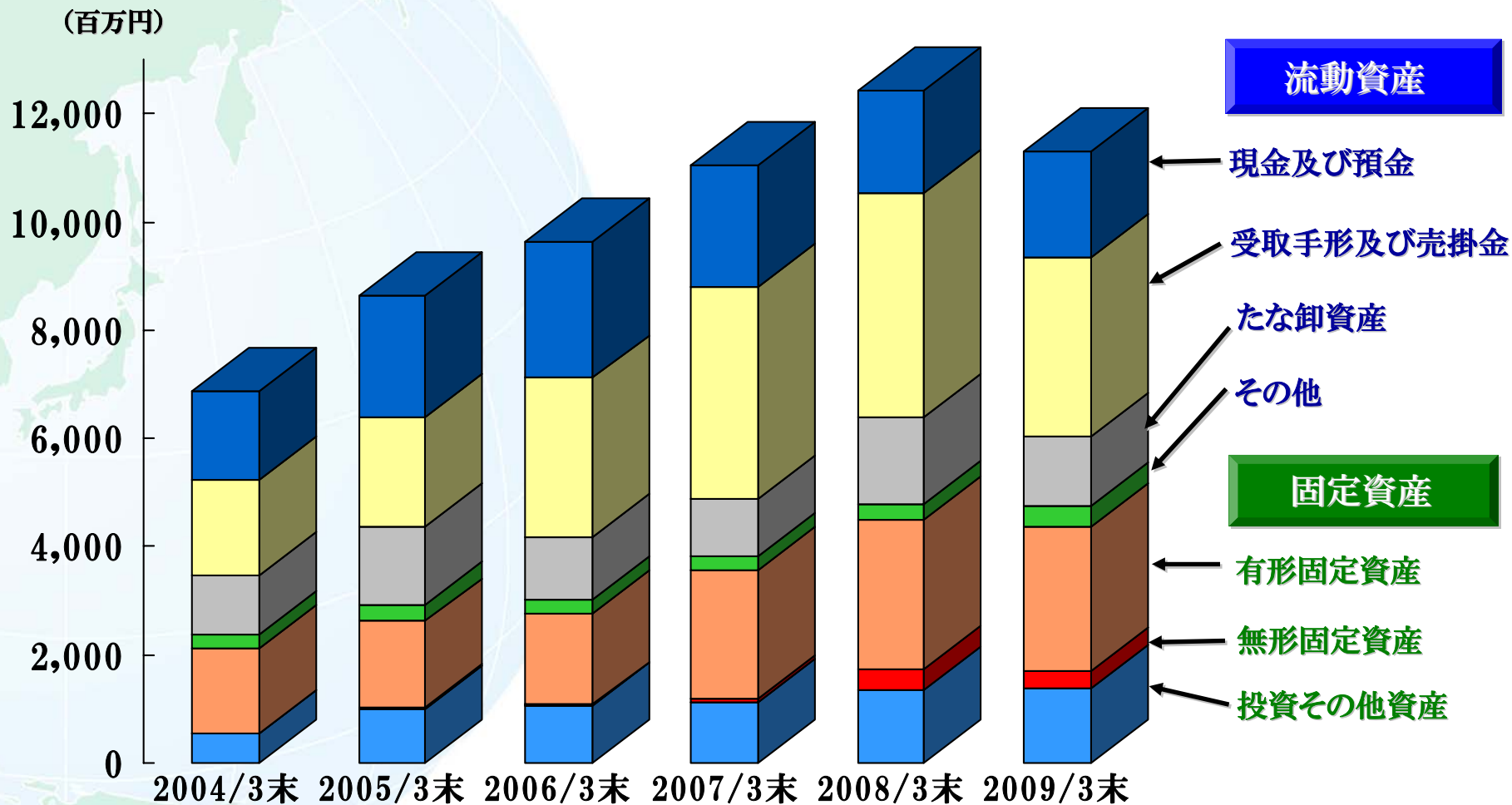


(単位:百万円)

連 結 損 益	2008/3月期	2009/3月期	前 同 期 比	2009/3月 累 計 予 想	予 想 比	コ メ ン ト
売 上 高	10,335	9,504	△8.0	9,800	△3.0	自動車業界不況、 為替の影響
売 上 原 価	5,605	6,163	10.0			研究用タイヤ試験 機コスト増
売 上 総 利 益	4,729	3,340	△29.4			主力製品の販売 減少
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,305	2,321	0.7			
営 業 利 益	2,423	1,018	△58.0	1,000	1.8	
経 常 利 益	2,098	1,110	△47.1	1,000	11.0	
当 期 純 利 益	1,252	753	△39.9	600	25.5	
1 株 当 たり 利 益 (円)	88.19	53.04	△39.9			

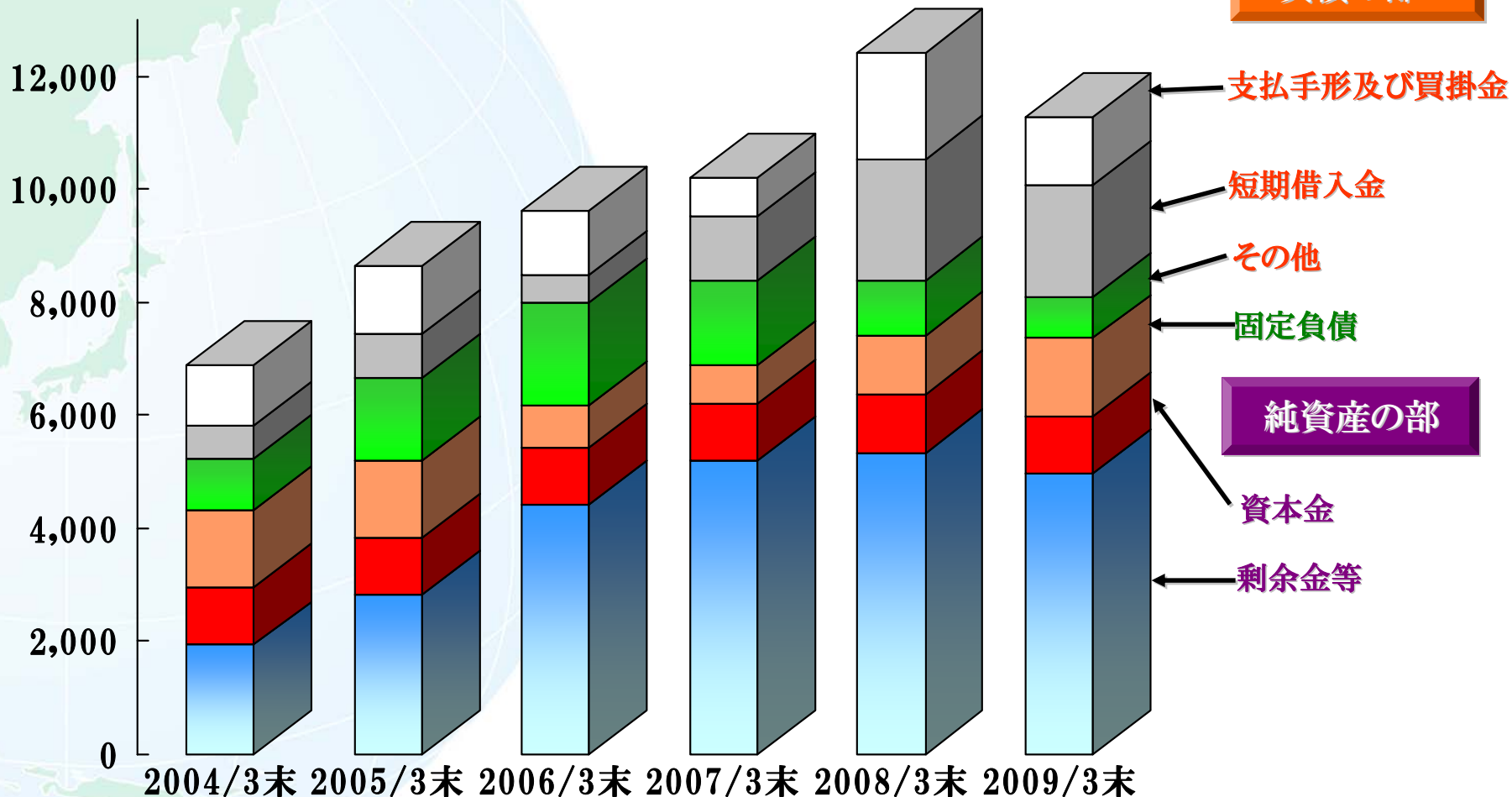
(注) 2009年3月期累計予想は、平成21年2月10日付の「平成21年3月期第3四半期決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。

◆資産の部



◆負債・純資産の部

(百万円)



(百万円)

科 目	2008年3月期	2009年3月期	増 減
流動資産	7,921	6,841	△1,080
固定資産	4,497	4,359	△138
流動負債	5,007	3,921	△1,086
固定負債	1,049	1,372	323
純資産	6,362	5,906	△456

流動資産：東南アジア向け出荷が、ユーザー依頼により売上が次期以降にずれ込み売上債権が減少したものであります。

固定資産：主に有形固定資産及びのれんの償却による減少であります。

流動負債：生産量の減少により仕入債務が減少したものであります。

固定負債：短期借入から長期借入への借換えを行ったことにより増加したものであります。

純資産：為替の影響により、連結海外子会社の換算差額が減少したものであります。

(百万円)

科 目	2008年3月期	2009年3月期	増 減
販 管 費	2,305	2,321	16
営業外収益	78	201	123
営業外費用	403	109	△294

販 管 費 : 次のスライドで記載しております。

営業外収益 : 為替差益及び保険解約返戻金によるものであります。

営業外費用 : 前期に、多額の為替差損が発生したことによるものであります。

販管費の主な項目

(単位:百万円・%)

科 目	2008/3期	2009/3期	前期増減比
人 件 費	783	770	△1.7
法 定 福 利 費	94	102	8.5
減 価 償 却 費	45	42	6.7
製 品 保 証 引 当 金	64	117	82.8
製 品 保 証 費	115	112	△2.6
旅 費 交 通 費	157	142	△9.6
運 賃	211	201	△4.7
販 売 手 数 料	102	55	△46.1
研 究 開 発 費	28	52	85.7
そ の 他	707	728	3.0
合 計	2,305	2,321	0.7

見積り方法の見直しの為

海外売上減少による影響

新製品開発の為増加

(百万円)

	2008年3月期 実 績	2009年3月期 実 績	増 減
営業活動によるキャッシュフロー	751	898	147
内 売上債権の増減(△増加)額	△172	601	773
投資活動によるキャッシュフロー	△816	△328	487
財務活動によるキャッシュフロー	△365	△304	61

営業活動によるキャッシュフロー

売上債権、たな卸資産及び仕入債務が減少したことや法人税等を支払ったことなどによりキャッシュが減少したものの、税金等調整前当期純利益が10億5千万円計上したことによるキャッシュが増加したものであります。

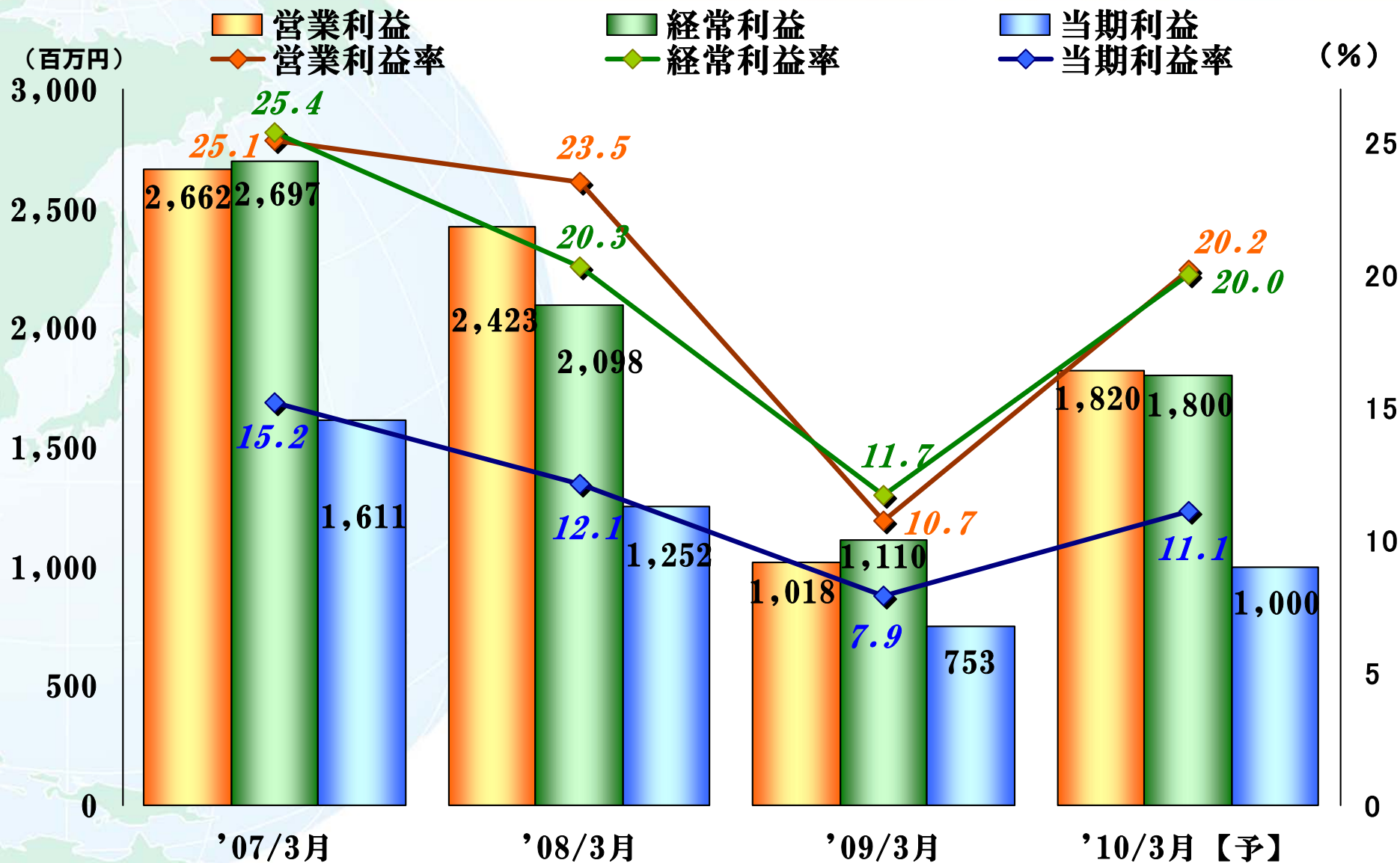
投資活動によるキャッシュフロー

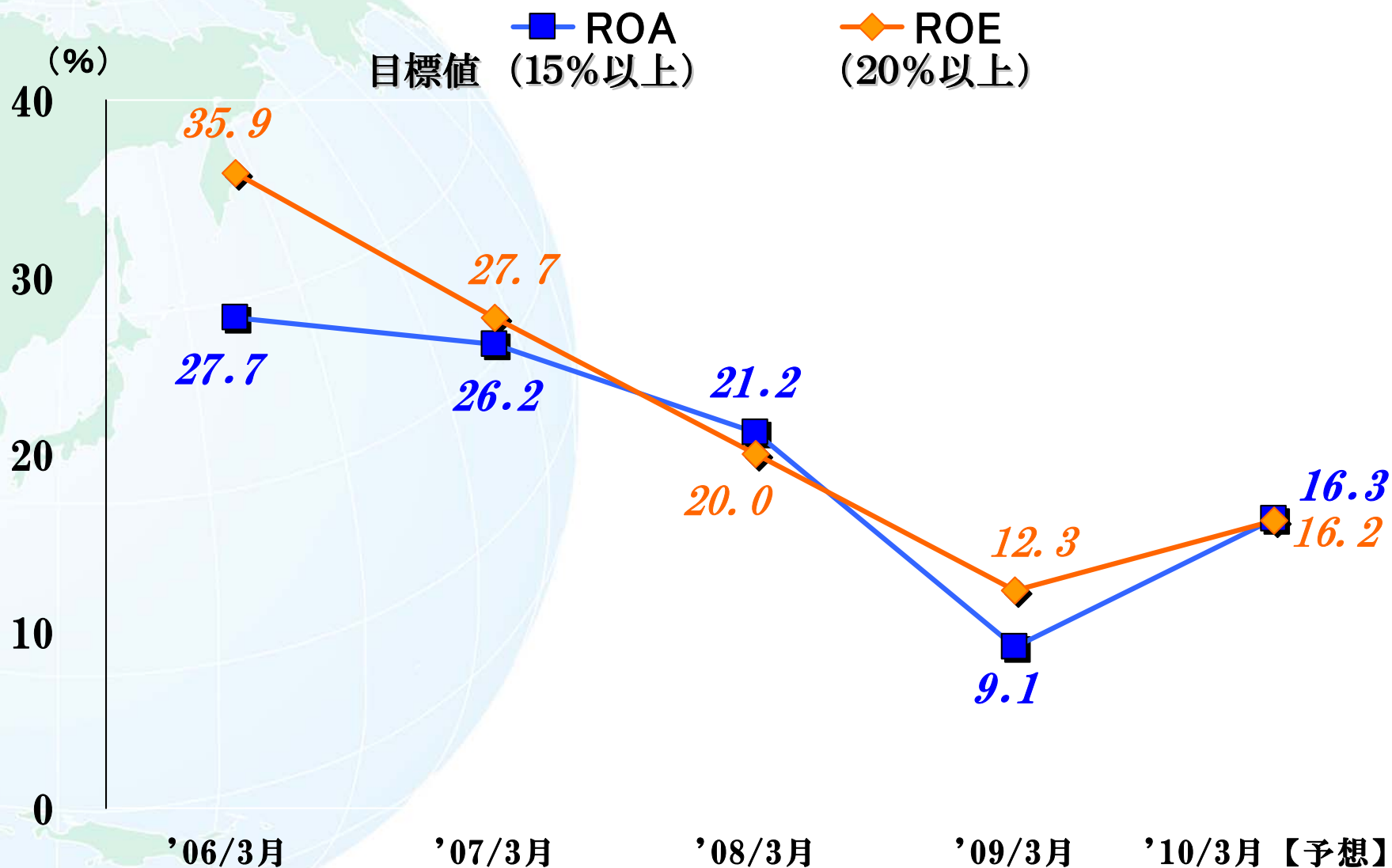
資金運用の為に定期預金に預け入れたことや、満期になった定期預金が払い戻されたこと及び、保険契約の見直しを行い保険積立金の積立てによる支出したことなどによるものであります。

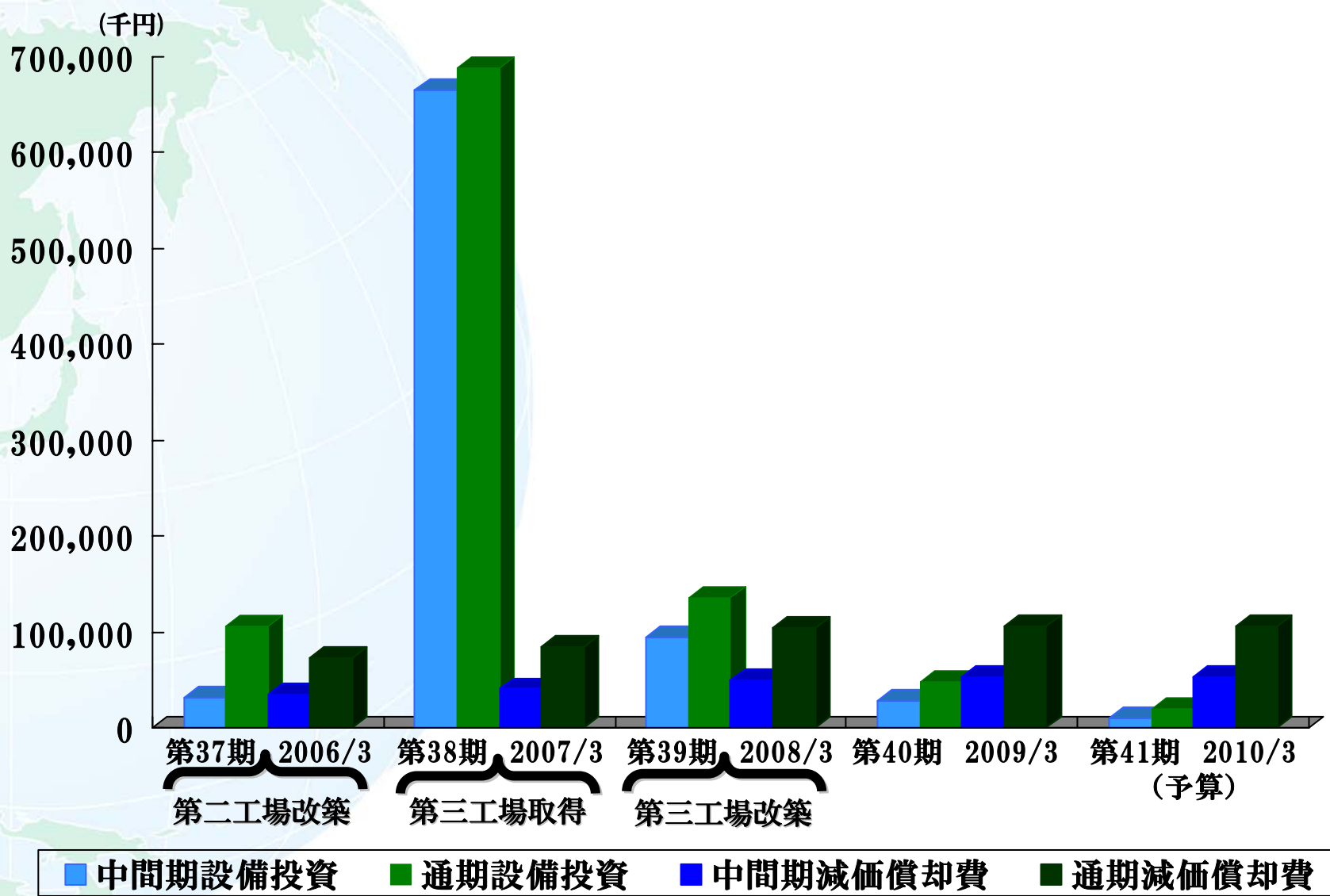
財務活動によるキャッシュフロー

長期借入金の返済及び、配当を実施したことなどによるものであります。

業績推移(連結)－利益項目－







(単位:百万円)

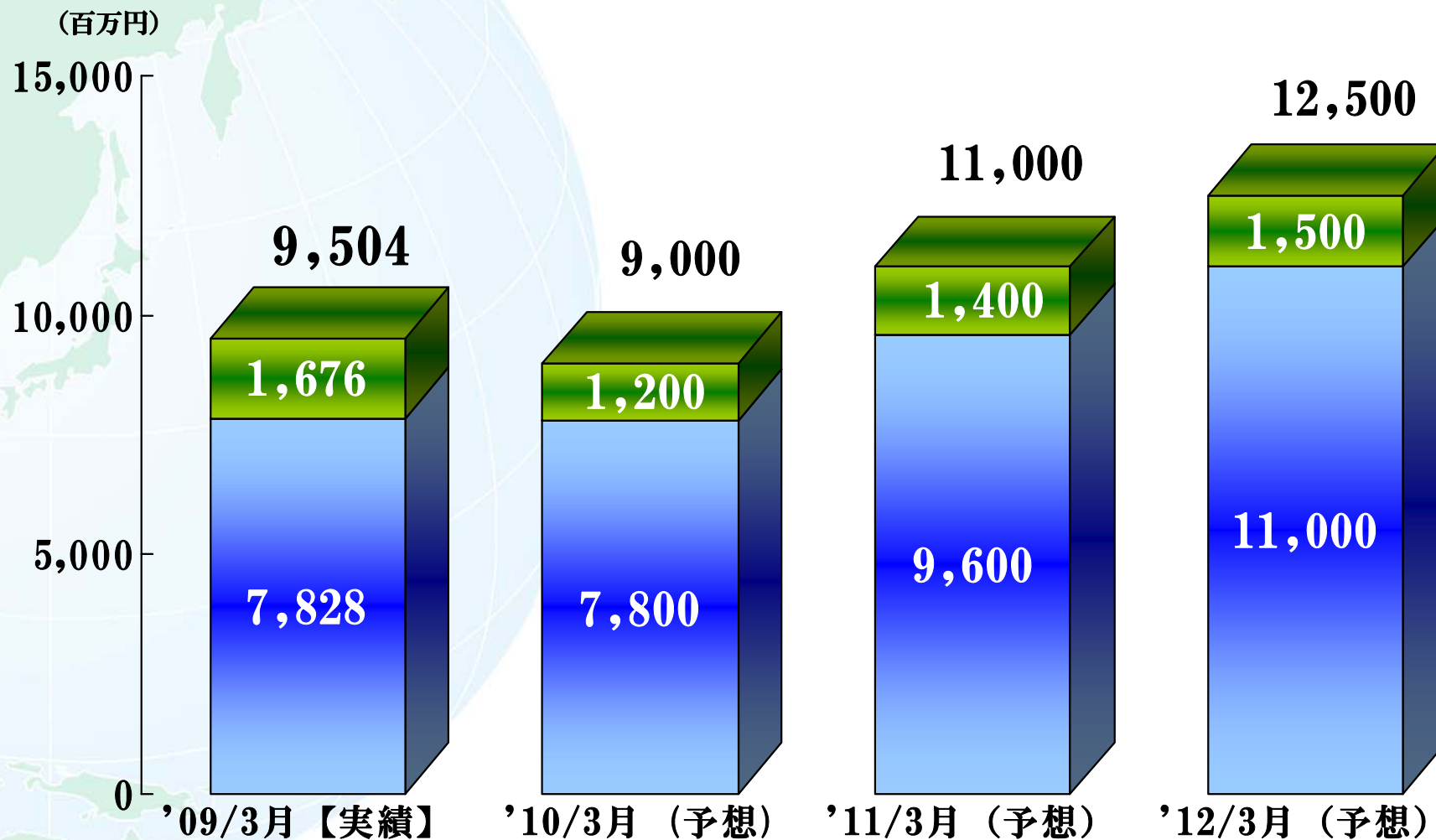
連 結 損 益	2009 / 3月期 通 期 実 績	2010 / 3月期 通 期 見 通	前年同期比	コ メ ン ト
売 上 高	9,504	9,000	△5.3%	タイヤ関連減少 振動試験機増加
売 上 原 価	6,163	5,230	△15.1%	常駐組付け業者の雇用を 廃止
売 上 総 利 益	3,340	3,770	12.9%	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,321	1,950	△16.0%	人件費削減によるもの
営 業 利 益	1,018	1,820	78.8%	
経 常 利 益	1,110	1,800	62.2%	
当 期 純 利 益	753	1,000	32.8%	
1 株 当 た り 利 益 (円)	53.04	70.43	32.8%	



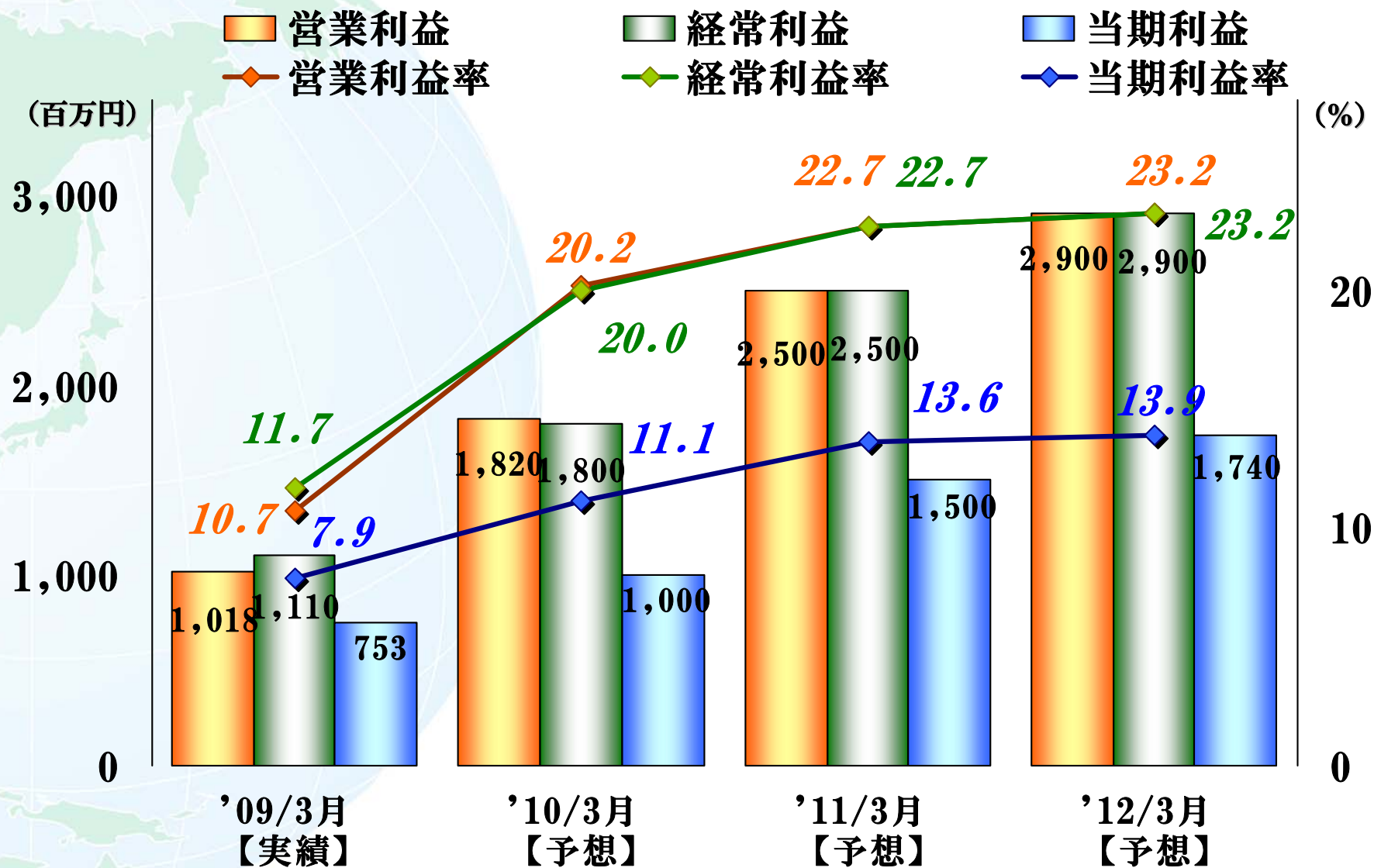
中期経営計画の方向性について

■ 国際ブランド製品

■ 東伸工業



新中期3ヵ年利益計画【連結】



(単位:百万円・%)

項 目 \ 決 算 期	(41期予想) ‘10/3月		(42期予想) ‘11/3月		(43期予想) ‘12/3月		
		前期比 増 減		前期比 増 減		前期比 増 減	構成比
売 上 高	9,000	△5.3	11,000	22.2	12,500	13.6	100.0
売 上 総 利 益	3,770	12.9	4,600	22.0	5,500	19.6	44.0
販 管 費 合 計	1,950	△16.0	2,100	7.7	2,600	23.8	20.8
営 業 利 益	1,820	78.8	2,500	37.4	2,900	16.0	23.2
営 業 外 損 益	△20	—	—	—	—	—	—
経 常 利 益	1,800	62.2	2,500	38.9	2,900	16.0	23.2
法 人 税 等	800	174.0	1,000	25.0	1,160	16.0	9.3
当 期 純 利 益	1,000	32.8	1,500	50.0	1,740	16.0	13.9
1株当たり当期純利益	70.43円		105.63円		122.53円		
1株当たり配当金	35円		55円		65円		

(単位:百万円・%)

製品分類別	09/3月末 受注残高	08/3月 受注残高	増減額	増減率
バランスングマシン	2,254	4,741	△2,486	△52.5
シャフト歪自動矯正機	174	472	△297	△63.1
振動試験機・その他計	357	780	△423	△54.2
東伸工業(株)	194	466	△271	△58.4
合 計	2,981	6,459	△3,478	△53.8

新規参入業界への展望

- 電気サーボを基本テクノロジーとした
新製品シリーズの開発経緯
- 当該業界の現状及び技術提携・M&A等



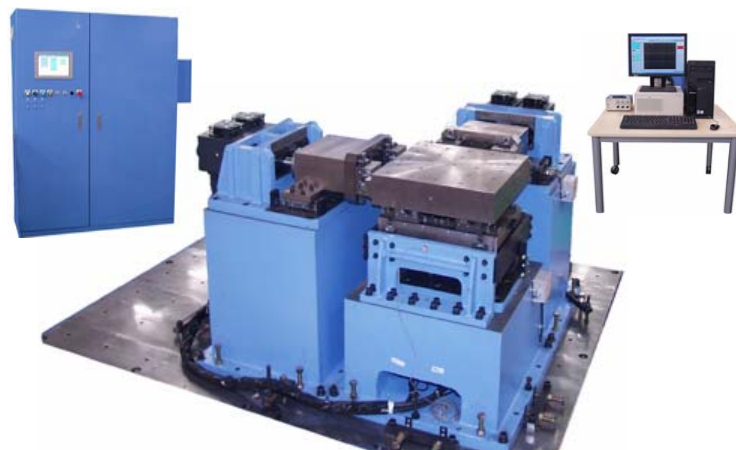




1. 引張・圧縮疲労/耐久試験機



2. ねじり疲労/耐久試験機

3. マルチタイプ
ねじり疲労/耐久試験機
引張・圧縮疲労/耐久試験機4. 3軸同時振動試験装置
(上下、水平3方向同時加振)

5. シート用3軸同時振動試験装置



6. 車載型3軸同時振動試験装置(3軸4ポスター)



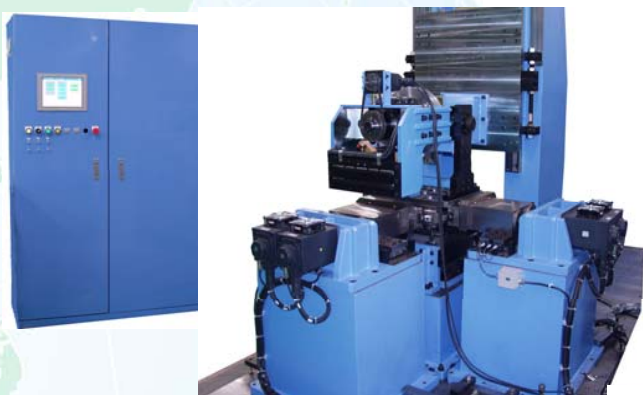
7. 車載型1軸振動試験装置(1軸4ポスター)



8. タイヤ・サスペンション用 3軸同時振動試験装置



9. ハブベアリング・サスペンション 6軸振動試験装置



10. 伝達関数測定用高周波振動試験装置



11. フラットベルトタイヤ試験システム



12. エンジンレストルクリップル振動試験装置



13. ステアリングラック&ピニオンギアボックス耐久試験機



14. 3軸同時防振ゴム疲労試験装置



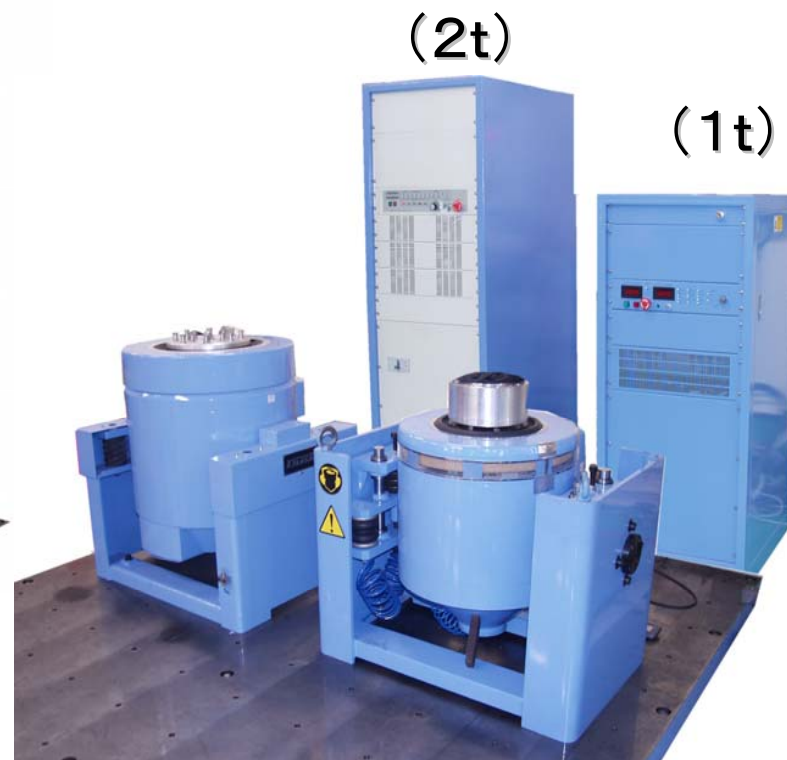
15. エンジンマウント動バネ振動試験装置(動電型)



動電型 3軸同時振動試験装置(1軸加振力 2t)



1軸振動試験装置

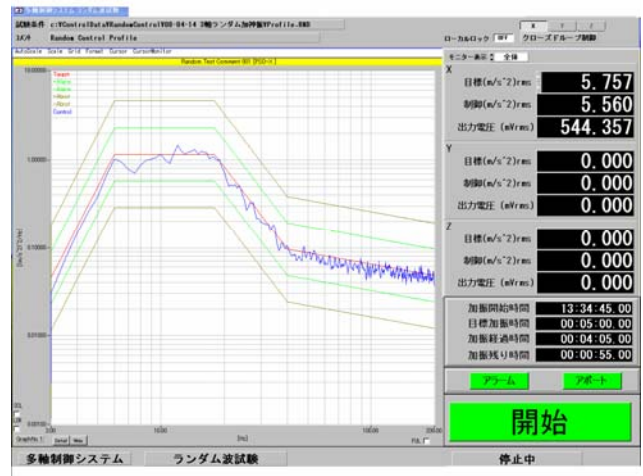


電気サーボモータ式包装貨物

- | | | | |
|----|------------|-----------|-----------------|
| 1) | 3軸同時振動試験装置 | JIS Z0232 | ISO 8318, 13355 |
| 2) | 自由落下試験装置 | JIS Z0202 | ISO 2248, 8568 |
| 3) | 圧縮試験装置 | JIS Z0212 | ISO 12048 |
| 4) | 落下衝撃試験装置 | JIS Z0202 | ISO 8568, 2248 |
| 5) | 水平衝撃試験装置 | JIS Z0205 | ISO 2244 |

電気サーボモータ式包装貨物3軸同時振動試験装置

JIS Z0232
ISO8318, ISO13355



VTS-20ES-3 耐震シミュレーション対応可

■ 主要仕様

基本システム型名		VTS-05ES-3	VTS-10ES-3	VTS-20ES-3
総合仕様	振動数範囲 Hz	0-200	0-200	0-200
	正弦波加振力 kN	5	10	20
	最大加速度 m/s^2	29.4	29.4	29.4
	最大速度 m/s	3.0	3.0	3.0
	最大変位 mmP	50(100)	50(100)	50(100)
	最大載荷重 kg	100	200	300
	所要電力 kVA	30	30	30
	振動台寸法 mm	500*500	1000*1000	1500*1500
制御部	PC	WINDOWS PC		
	制御盤寸法 W×H×D	1400*2050*500	1400*2050*500	1400*2050*500
	質量 kg	300	300	300
	振動制御部	デジタル振動制御装置による		

包装貨物評価用各種試験装置【2】

電気サーボモータ式包装貨物自由落下試験装置



JIS Z0202
ISO2248, ISO8568



縦落下試験



片持ち落下試験



落下後

■ 主要仕様

型名		DTS-5	DTS-15	DTS-30	DTS-50
仕 様	載荷台寸法mm	500	1000	1500	2000
	載荷重量 kgf	50	150	300	500
	落下高さmm	10~1000			
	電源	AC200V 3相			

電気サーボモータ式包装貨物圧縮試験装置



JIS Z0212

ISO12048

■ 主要仕様

型名		DPTS-5	DPTS-15	DPTS-30	DPTS-50
仕 様	載荷台寸法mm	500	1000	1500	2000
	圧縮荷重kN	5000	10000	20000	40000
	可変高さmm	10~1000			
電源		AC200V 3相			

電気サーボモータ式包装貨物落下衝撃試験装置



JIS Z0202
ISO8568, ISO2248

■ 主要仕様

基本システム型式		KCL-50	KCL-100	KCL-200	KCL-350	KCL-500	KCL-1000
仕 様	最大載荷重 (kg)	50	100	250	300	500	1000
	衝撃持続時間 (ms)	50-1	50-1	30-1	30-1	18-3	18-3
	加速度範囲 (m/s ²)	ハーフサイン波					
		150-6000	150-6000	150-6000	150-6000	150-2000	150-2000
		鋸波					
		150-1000	150-1000	150-500	150-500	150-500	150-500
		矩形波					
		150-1000	150-1000	150-500	150-500	150-500	150-500
	載荷台寸法 (mm)	500 × 500	500 × 500	800 × 650	1000 × 800	1200 × 1000	1200 × 1200
	本体質量 (kg)	3800	3800	4500	6500	7500	8500
機 体	本体寸法 W × H × D (mm)	1750 × 1000 × 2350	1750 × 1000 × 2350	1800 × 1200 × 2350	2300 × 1550 × 3000	2500 × 1750 × 3000	2900 × 1750 × 3000
	制御盤型式	KKLC-2000					
	制御盤質量 (kg)	100					
	制御盤寸法 W × H × D (mm)	460 × 1400 × 1000					
	所要電 (kVA)	1.3	1.3	2.0	3.0	3.0	3.0
	電源 (V)	AC200 (50/60Hz)					

包装貨物評価用各種試験装置【5】

電気サーボモータ式包装貨物水平衝撃試験装置

JIS Z0205

ISO2244



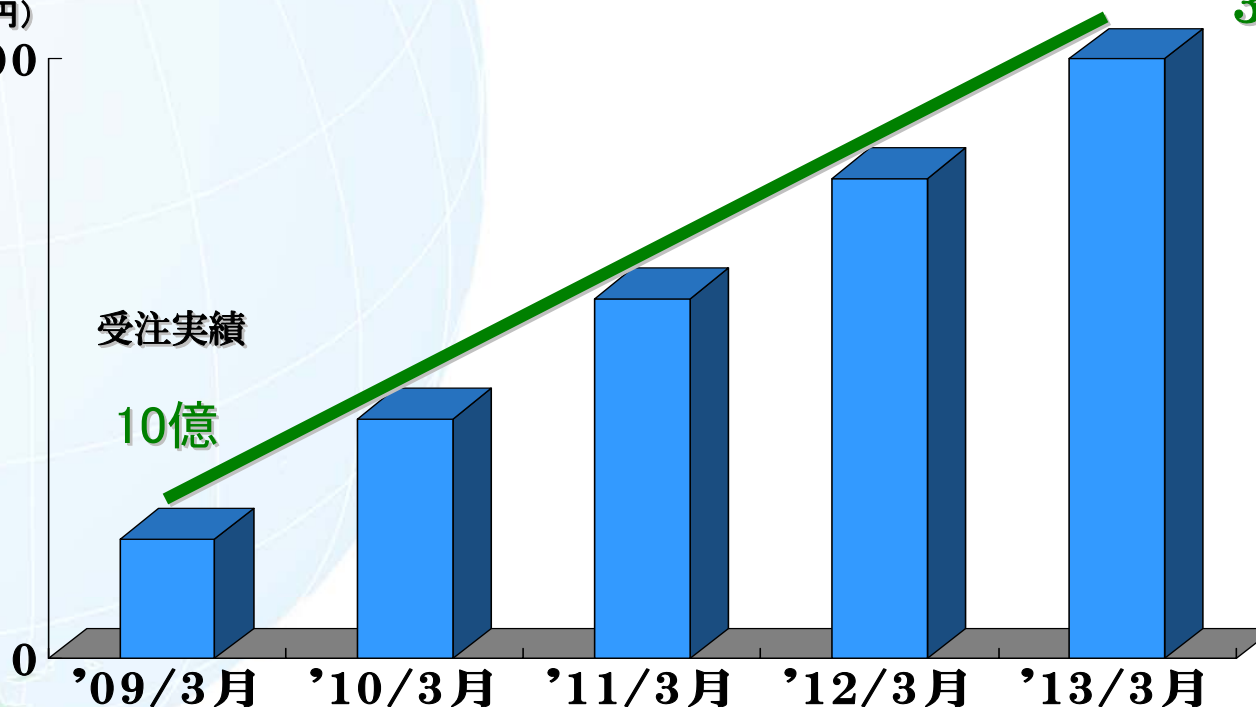
	KHS-5	KHS-15	KHS-30	KHS-50
載荷台寸法	500	1000	1500	2000
最大積荷重	50	150	300	500
水平速度	1.5-1.8-2.2-2.7-3.3-4.0-5.0M			
電 源	AC200V 3相			

※今期より本格的受注開始
初年度 受注高10億円を目標とする。

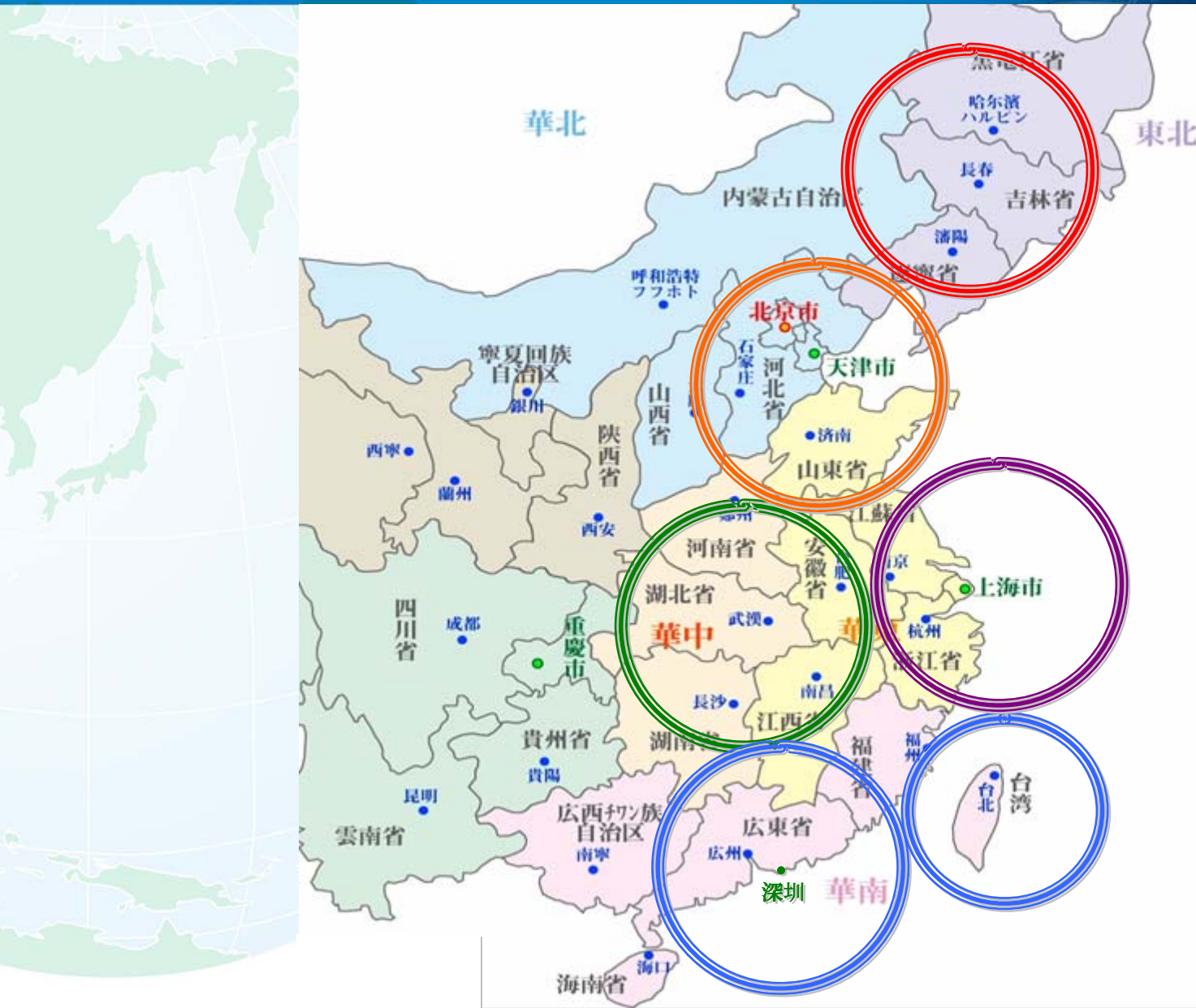
・製品シリーズ

- ・電気サーボモータ式各種振動試験装置【耐震シミュレーション含む】
- ・電気サーボモータ式材料(万能)試験装置【SMC】
- ・動電型振動試験装置
- ・電気サーボモータ式包装貨物評価用試験装置(5種類)

(百万円)
5,000



5年後
30億~50億



■ 既存製品

■ 新製品

■ 東伸工業

(百万円)

15,000

'13/3(予想)

2,000

3,000

10,000

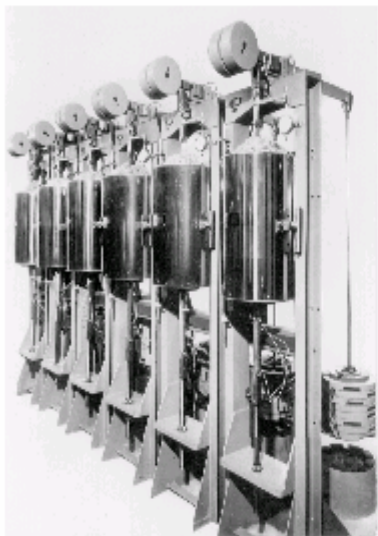
9,504

'09/3(実績)

企業概要

- 会社名 東伸工業株式会社(1964年1月22日設立)
- 本社所在地 東京都品川区南大井3-7-14
- 代表者 近藤 将夫(国際計測器株式会社 取締役技術部長兼務)
- 事業内容
 - 1.金属、新素材関係の材料試験装置、計測機器類及び高温高压環境装置の製造販売
 - 2.コンピュータによるデータ収集処理装置のソフトウェアの開発、ハードウェアの販売
- 主要製品
 - 1.高温強度試験(クリープ試験装置)
 - 2.腐食環境強度試験(高温高压水、超臨界水、蒸気環境装置)
- 資本金 5,400万円
- 従業員数 47名
- 業績 16億75百万円(2009年3月期) 経常利益 3億24百万円
(決算期を当社と同一にするため、本年度は15ヶ月決算となっています。)
- 主要取引先 官公庁特殊法人(日本原子力研究開発機構等)、大学(東京大学等)
上場企業を中心とした大手素材・機械メーカー 他

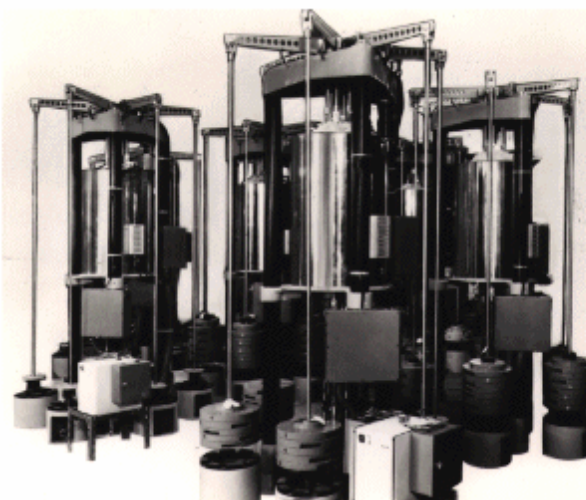
大手 金属材料メーカー向け、物質材料研究機構、新日鐵、JFE、住友金属、三菱マテリアル 大学 etc



クリープラプチャー試験装置

クリープ試験とは、試験片を一定の温度に保持し、一定の荷重を加えて時間と共に変化する歪みを測定する試験で、クリープ破断試験とは、一定温度一定荷重下における破断時間、破断伸び、破断絞りなどを測定する試験です。

本装置は主に耐熱金属材料を対象としたクリープ試験装置で、当社の永年の経験と実績の上に完成された最もポピュラーなオリジナル製品です。



マルチクリープラプチャー試験装置

本装置は、1連に試験片3本が直列に取り付けられ、6連の荷重負荷装置により、合計18本の試験片のクリープ破断強度の測定が得られるマルチプル型のクリープ破断試験装置です。

日本原子力研究所、日本核燃料開発株式会社、九州電力会社、日立製作所、三菱重工業株式会社 etc



腐食環境下で、材料を腐食速度とあった低歪速度で引張変形を行うことにより割れ感受性を高感度に検出することと、割れ感受性の判定を短時間でいうことで、材料の環境による腐食割れを評価する方法として、低歪速度試験法(SERT法)が極めて有効です。

本装置は、SOC機構究明のため特に特殊環境下で、正確なデータ計測と高度な制御回路を駆使した低歪速度型の引張試験機です。

安定速度型応用力腐食割れ試験装置



環境への負荷が少ない超臨界水(374℃以上、22.1MPa以上)を使用した反応、分離及び新素材の研究開発に使用している新しいテストプラントが今注目されています。弊社では、永年の経験と実績に基づきお客様の目的にあった、超臨界水のテストプラントを提案、設計、製作致します。

超臨界水環境製造装置

Kokusai